

サンゴ礁と気候変動に関する決議（仮訳）

IPCC 第4次評価報告書「気候変動2007：自然科学的根拠、政策決定者向け要約」と「気候変動2007：影響、適応及び脆弱性。政策決定者向け要約」の見地から、

気候変動がサンゴ礁に与える影響として予測されるサンゴ礁の白化、熱帯におけるサイクロンの大型化、海洋の酸性化など、サンゴ礁生態系の健全性への悪影響に関心をもって言及し、

第3回国際熱帯海洋生態系管理シンポジウム（ITMEMS）に参加した、世界の350人のサンゴ礁の保護管理者や科学者により採択された「サンゴ礁と気候変動に関する声明」（付録）についてさらに言及し、

国際サンゴ礁イニシアティブは、気候変動が全球レベルでサンゴ礁生態系に対する大きな脅威を与えていることや、1億人もの人々の生存と生計がサンゴ礁に依存していることを認識し、

気候変動の進展の程度によってはサンゴ礁の将来の状況に大きな影響が及ぼされるために、気候変動緩和のための活動が必要であることを認識し、

「サンゴの白化と回復力に関するサンゴ礁保護管理者へのガイド」に概説されているようなサンゴ礁の回復力を支援する意義のある活動の必要性を認識し、

ICRIメンバーに対して、以下のように呼び掛ける。

- 1) 気候変動に対するサンゴ礁の回復力（resilience）を改善させる活動への支援
良好な水質、健全なサンゴ礁の広がり、藻食魚類を含めた生物の多様性を維持し高めていくことが必要であり、各地域におけるステークホルダーと連携して、サンゴ礁へのストレスを減少させる。
- 2) 研究への支援
気候変動に対するサンゴ礁の回復力に関する研究の促進や、その成果の保護管理への適用を行う。
- 3) 持続的な生計の開発への支援
生態系の回復力を強化しつつ、沿岸域に住む人々の気候変動に対する脆弱性を減少するような、持続可能な生活形態をつくりだすための支援を行う。
- 4) 普及啓発の強化
気候変動によるサンゴ礁への影響について普及啓発を行う。